

# 学校別傾向と対策～学習院女子中等科～

## 算数

### 出題傾向

50分で大問6問程度のため、時間制限に余裕があるように見えます。しかし、実際は考え方や途中式を書く必要があり、問題も読み込まなければ理解しにくい問題などが含まれ時間制限に慣れるには訓練が必要になるでしょう。出題単元は書き出しを必要とする規則性の問題や図形の回転移動が頻出になります。また、速さも出題も多いですが、中でも細かい計算力を要求される問題が出題されます。

### 合格への対策

まず、記述式の解答のため、考え方が分かるよう記述する能力を磨く必要があります。普段の学習でも筆算をあちこちに書くのではなくしっかり式でまとめ、何を算出しているのかをまとめながら問題を解くようにしましょう。学習院女子の対策に問わず、問題を整理する能力が磨かれます。また、平面図形や立体図形の問題は女子が苦手とする単元の1つでもあります。平面図形では回転移動や立体図形のくり抜きを重点的に学習するとよいでしょう。回転移動の問題では、図でしっかり整理できるよう演習するとよいでしょう。近年では、作図の出題も頻出です。規則性の問題は、パターンの処理できる問題よりも書き出しや表に整理したりすることが必要になりますので、単純な三角数や四角数などを意識するだけでなく、フィボナッチ数列などパッと見て規則の分からない問題で演習を行いましょう。

## 国語

### 出題傾向

例年、物語文と漢字の読み書きの2つの大問構成です。物語文の設問は大体12問程度、漢字は20問です。物語文はほとんどの設問が字数制限なしの記述問題です。国語に苦手意識がある場合はこれだけでしり込みしてしまいがちですが、文脈に沿った設問が多く（前後の内容がヒントになるということ）そこまで難しいわけではありません。合格を目指すならば6割5分以上を狙いたいところです。

### 合格への対策

まず、漢字は絶対に落としてはいけません。仮に漢字が1問につき2点配点ならばそれだけで40点です。次に物語文の心情記述をマスターすることです。これはある程度は公式化可能なものですから、型を覚えたらテキストに載っている物語文の記述問題に字数制限無しで取り組みアウトプットの量を増やしましょう。書いたものは可能な限り受験専門の国語講師の添削を受けましょう。また、文章はかなり長文です。読解途中で集中力が切れたり、根気をなくしたりすることのないように長文を読むのが当たり前という状態をつくっておきましょう。

理数特化型進学塾 **進塾**

東京都北区赤羽西 1-39-1 伊藤ビル 3階

TEL 03-5924-7747



# 学校別傾向と対策～学習院女子中等科～

## 理科

### 出題傾向

30分間の制限時間で大問4題の構成になっています。物理・化学・生物・地学から1題ずつ出題されます。計算の出題が非常に多いことと記述問題が多いことが特徴になります。どの単元の出題頻度が高いということは特になく、満遍なく出題されるため単元による対策が難しいことが傾向として挙げられます。

### 合格への対策

単元による偏りはあまり見られませんが、身近な理科を出題する傾向にあることが対策のポイントになります。温暖化に関する問題の出題や日食のあった年には日食の問題の出題など話題になったものが問題として出題されます。また、病気の原因となる微生物の問題や振り子を利用したブランコのなど生活の中での現象を理科に結び付ける傾向にあります。その上での記述問題になることが多いです。そのため、普段から理科に対して興味を持ちながら日頃から起こる現象になぜなのか？と興味を持ち、理由を考えたり、教えてもらったりといった環境を整えることで合格への道を切り開くことができます。

## 社会

### 出題傾向

例年、大問は3ないし4つから構成され、地理、歴史、公民ともに偏りなく出題されます。設問は全体で40問程度で、4～5問程度の記述問題が出題されます。これを考えると、制限時間30分で解くわけですから時間的には厳しいです。また、記述問題は例えば「東日本と西日本の食文化の違いを具体例を挙げて説明せよ」などのテキストの学習のみでは解けないものもあります。この学校のレベルだと、こういう設問で差がつくため難易度は高い部類に属するといえます。広く社会に関心を持っていないようではこの学校の社会で合格するのは厳しいでしょう。

### 合格への対策

スピード勝負ですから、単純知識問題を高速、かつ正確に処理する必要があります。しかも、これでは差がほとんどつきませんから(受験者のほとんどは皆正解してしまうため)、テキスト内容の知識はほぼ完璧にするくらいの徹底さが必要です。また、時事問題も必ず出題されますので時事問題の学習も手を抜けません。ここまでは前提条件です。その上で、記述問題の対応ですが、ひらめきが必要なものも出題されます。その場勝負ですが、普段からそういう思考訓練をしておけばひらめく確率は高くなります。テキストの各事項に関して「なぜ？」と考える訓練を地道に進めるのがお勧めです。例えば、青森県がりんご生産1位なのはなぜ？という具合です。

理数特化型進学塾 **進塾**

東京都北区赤羽西 1-39-1 伊藤ビル 3階

TEL 03-5924-7747

